



償還交付運用報告書

日米4資産スマートバランス（DC年金）

<愛称> きんとう君（DC年金）

追加型投信／内外／資産複合

繰上償還

作成対象期間：2023年1月11日～2023年8月31日

最終期 償還日：2023年8月31日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「日米4資産スマートバランス（DC年金）」は、信託約款の規定に基づき、2023年8月31日をもちまして繰上償還いたしました。

当ファンドは、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引、先進国の公社債等への投資を通じて、信託財産の着実な成長を図ることを目的とします。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも当社商品につきお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

償還時 2023.8.31

償還価額 9,873円83銭

純資産総額 0.098916百万円

最終期

2023.1.11～2023.8.31

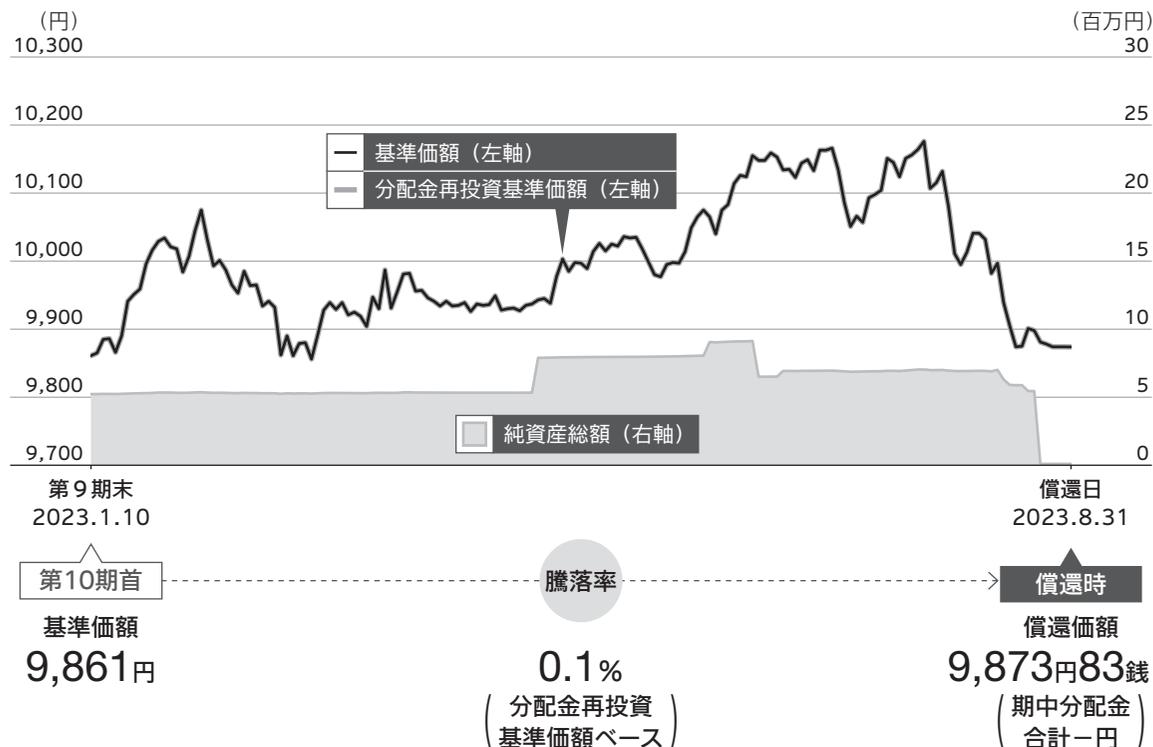
騰落率* 0.1%

期中分配金合計 ー円

* 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移

- 分配金再投資基準価額の推移は、2023年1月10日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

● 基準価額の主な変動要因

日米4資産スマートバランス（DC年金）

日米4資産スマートバランス マザーファンドとマネープールマザーファンドを概ね50%ずつ保有しました。主に、日米4資産スマートバランス マザーファンドの基準価額が上昇したことから、当ファンドの基準価額は上昇しました。

日米4資産スマートバランス マザーファンド

期中の騰落率は+4.7%となりました。国内株式先物の価格上昇を主因に基準価額は上昇しました。

マネープールマザーファンド

期中の騰落率は-0.07%となりました。短期金融資産の利回りはマイナス圏で推移したものの、比較的マイナス幅が小さいコール運用を行ったことから基準価額は小幅に下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

項目	最終期 2023.1.11~2023.8.31		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	46円	0.456%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は10,003円です。
(投信会社)	(21)	(0.211)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(21)	(0.211)	購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(4)	(0.035)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.012	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(先物・オプション)	(1)	(0.012)	
(c) その他費用	5	0.049	(c) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(0)	(0.001)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.007)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(4)	(0.042)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	52	0.517	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

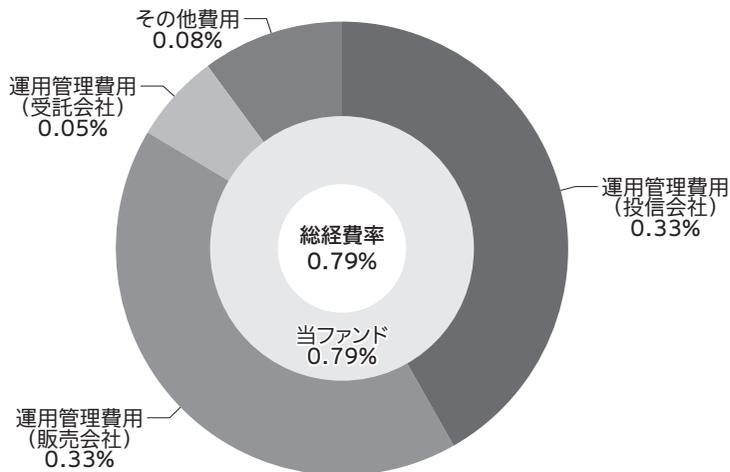
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.79%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.1.9~2023.8.31



- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年1月9日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日	2018.1.9 決算日	2019.1.8 決算日	2020.1.8 決算日	2021.1.8 決算日	2022.1.11 決算日	2023.1.10 決算日	2023.8.31 償還時
基準（償還）価額 （円）	10,558	10,304	10,484	10,623	10,574	9,861	9,873.83
期中分配金合計（税引前） （円）	—	0	0	0	0	0	—
分配金再投資 基準価額騰落率 （%）	—	△ 2.4	1.7	1.3	△ 0.5	△ 6.7	0.1
純資産総額 （百万円）	4	10	9	15	13	5	0.098916

● 投資環境

○国内株式市場

国内株式は上昇しました。

黒田日銀総裁の後任となる植田氏が金融緩和継続姿勢を示したことや、中国のゼロコロナ政策の緩和などが好感され、2023年3月にかけて上昇しました。その後、欧米の金融システム不安を受け下落する局面もありましたが、5月以降、金融緩和政策が長期化するとの観測や相対的に底堅い日本経済が好感され、大幅に上昇しました。7月以降は、日銀の政策運営見直しや中国の景気減速懸念が重しとなりましたが、好調な企業業績を受け上昇基調が継続しました。

○米国株式市場

米国株式は上昇しました。

2023年1月は、米国の金利低下が好感され上昇しました。2月は、強い経済指標の公表を受け利上げ観測が高まり下落しました。その後、欧米で金融システム不安が高まったことを受けて一段と下落する局面がありましたが、欧米中央銀行の迅速な対応や金利の低下が好感され、3月下旬以降は上昇基調となりました。5月下旬以降は、米国の債務上限問題への懸念後退や、AI関連銘柄への期待感、景気悪化懸念の後退を受けて上昇しました。8月に入ると、金利上昇が重しとなり、小幅に下落しました。

TOPIX（東証株価指数）の推移



S&P 500種指数の推移



○国内債券市場

国内債券の利回りは上昇（価格は下落）しました。

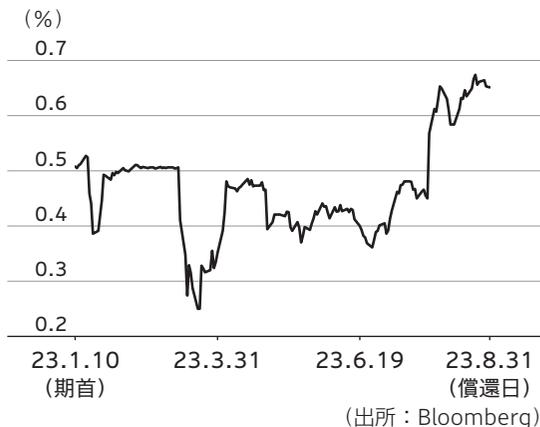
2023年1月の日銀の金融政策決定会合で金融緩和政策が維持されたことや、3月に欧米で金融システム不安が広がったこと、4月以降の日銀新体制のもとでも金融緩和政策が継続されたことから、長期金利は概ね日銀の許容上限の0.5%を下回る水準で推移しました。しかし、7月以降円安が進行する中、7月末に日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の運用柔軟化を決定すると、金融政策の正常化観測が高まり、利回りは上昇しました。

○米国債券市場

米国債券の利回りは上昇しました。

期初はインフレ率のピークアウト観測を受け利回りは低下（価格は上昇）基調でしたが、2023年2月以降は、強い経済指標を受け利上げ観測が高まり、利回りは上昇しました。3月中旬に金融システム不安が広がると利回りは大幅に低下しました。5月後半以降は、金融システム不安や米国景気悪化懸念が後退し追加利上げ観測が高まり、利回りは上昇しました。8月は、米国国債の需給懸念や財政懸念を受けて一段と利回りは上昇しました。

日本債券（10年債）利回りの推移



米国債券（10年債）利回りの推移



● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、期を通じて、「日米4資産スマートバランス マザーファンド」および「マネープールマザーファンド」への投資比率を、概ね各50%に維持した後、2023年8月下旬にキャッシュ化しました。

日米4資産スマートバランス(DC年金)の 組入ファンドの比率

	純資産比
日米4資産スマートバランス マザーファンド	49.5%
マネープールマザーファンド	49.2%

日米4資産スマートバランス マザーファンド

当ファンドの方針通り、月次で各資産のリスクウェイトが均等になるように、各資産の構成比率を調整しました。

ただし、2023年3月に、国内株式市場および米国株式市場の緊張度の高まりを示す指標が当ファンドの基準値に達したため、国内株式および米国株式のリスク寄与度を引き下げ、他の2資産はリスク寄与度が均等になるようにリバランスしました。その後、4月初旬に所定の解除条件を満たしたことから、リスクウェイトを回復しました。

日米4資産スマートバランス マザーファンドの資産別配分比率

先物	純資産比
国内株式先物	31.9%
米国株式先物	55.4%
国内債券先物	75.4%
米国債券先物	38.9%

注. 各表の比率は、当該ファンドがマザーファンドを保有していた最終日(2023年8月23日)における純資産総額に対する評価額の割合です。

マネープールマザーファンド

短期金融市場において、国債の利回りがマイナスであるため、比較的マイナス幅が小さいコール運用を中心に行いました。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、各マザーファンドへの投資を通じて、米国と日本の株価指数先物取引および債券先物取引を主要取引対象とし、先進国の公社債等を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載していません。

● 分配金

該当事項はありません。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

※設定来の運用経過については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

<償還を迎えて>

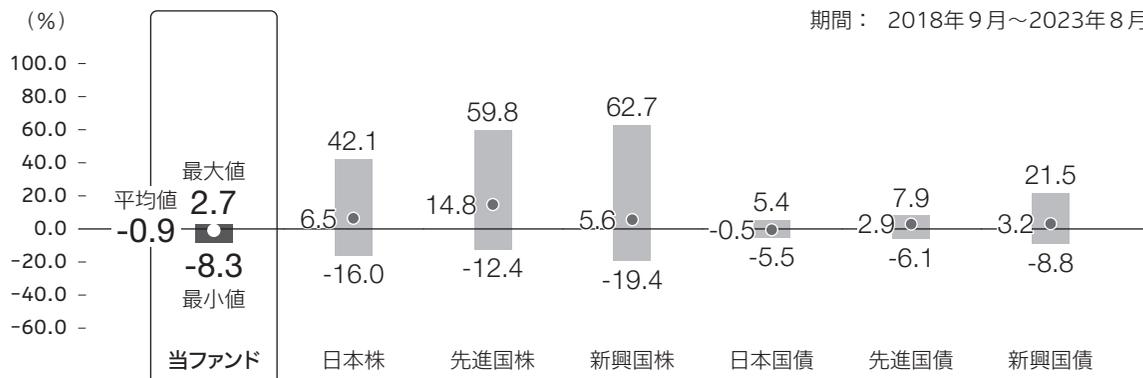
当ファンドは、2023年8月31日をもちまして信託期間を終了し、繰上償還とさせていただくこととなりました。受益者の皆様のご愛顧に心より御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2014年8月28日から2023年8月31日まで（当初、無期限）
運用方針	信託財産の着実な成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	 日米4資産スマートバランス（DC年金） 日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券およびマネープールマザーファンド受益証券
	 日米4資産スマートバランス マザーファンド 主要取引対象：米国およびわが国の株価指数先物取引および債券先物取引 主要投資対象：残存期間の短い先進国の公社債等
	 マネープールマザーファンド わが国の公社債等
運用方法	<p>① 日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券およびマネープールマザーファンド受益証券への投資を通じて信託財産の着実な成長を目指します。</p> <p>② 日米4資産スマートバランス マザーファンド受益証券は、株価指数先物取引および債券先物取引等の買建額の時価総額の合計が、原則として当該マザーファンドの信託財産の純資産総額の2倍程度となるよう調整を行います。</p> <p>原則として、ポートフォリオ全体へのリスク寄与度が概ね均等となるように、各資産の組入比率を調整するリスク・パリティ運用を基本とし、1) エンハンス・モデル、2) フロアの設定、3) 下方偏差の利用という3つの仕組みを追加することにより、下落リスクを低減しつつ、安定した収益の確保を目指します。</p> <p>③ 各マザーファンド受益証券への投資比率は、概ね50：50とします。</p> <p>④ 実質組入外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジを行います。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。</p>

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間：2018年9月～2023年8月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は13ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

償還時における組入ファンドはありません。

※ 組み入れているマザーファンドの直近の計算期間の内容につきましては、償還運用報告書（全体版）に記載しております。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は償還時における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	償還時 2023.8.31
純資産総額	98,916円
受益権総口数	100,180口
1万口当たり償還価額	9,873円83銭

※ 当期中における追加設定元本額は4,291,492円、同解約元本額は9,494,266円です。

● 指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

日米4資産スマートバランス（DC年金）

検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0966/sales.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

運全

運用報告書（全体版）

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。